

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和8年7月30日（木）午前9時00分
開催場所	リパリス1階会議室
出席委員等	委員 金永 俊一、委員 上西 幸子
	委員 横井 きよみ、委員 倉永 慎一
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	課長 谷岡潔、専門監 本田敬、国スポ推進室長 廣瀬孝一、 補佐 橋本敏博、国スポ推進係長 黒木陽、社会教育係長 佐々木恒太、

・教育委員会定例会の開催

1 開会のことば

谷岡課長

・ただ今から令和8年7月木城町教育委員会定例会を開会します。

2 教育長あいさつ

恵利教育長

・あらためましておはようございます。猛暑というんでしょうか、酷暑というんでしょうか。昨日は宮崎県各地が全国で最高記録だったということでした、そんなような中でお集まりいただきまして誠にありがとうございます。何と言いましても令和8年熊本地震。言葉はありませんね。関係の方々、お近しい方がおられますでしょうか。お見舞いを申し上げながらですね頑張って欲しい。テレビを見ていると涙が出ますね。1日も早いですね復旧復興心から願うばかりです。町内震度4、教育施設、文化財等被害はありませんでしたが皆さんは大丈夫だったでしょうか。いつもこんなときは防災の大切さ、日ごろから備えの大切を改めて感じる場所なんですけど、想像を超えた安全な場所だなと思うようなところにもそういう非常に大きな被害が発生してくるということを感じました。安全なところにやっぱりいち早く避難することが大事だなと思いました。そこから絶対戻らない。安易に考えずにですね。そういうこともやっぱり痛感しております。お見舞いを申し上げたいと思います。さて夏休みも始まりまして1週間経ちました。酷暑の続く中でも、後程またこのチラシもございますが、町の行事もですねいろいろと進めており子供たちも無事夏休みを迎えておりですね、楽しく、安全で有意義な夏休みでありますように。もう1ヶ月切りましたけど、そう願っているところです。有意義な教育委員会でありますようよろしくお願いしたいと思います。

3 議長選出

[恵利教育長に議長をお願いしました。]

4 7月期定例会会議録署名委員の指名（恵利教育長・倉永委員）

5 議題及び議事

(1) 6月期定例会会議録の承認について(恵利教育長・上西委員)

[事前に送付していた6月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]

(2) 事務局報告事項

①教育長報告

- ・[7月行事報告と合わせて報告]

②行事報告及び行事予定

7月行事報告)

恵利教育長

- ・7月1日(水) 第4回木城町議会臨時会
ふるさと振興協会新旧理事長あいさつ
第76回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式
 - ・7月2日(木) 都農町副町長・教育長リパリス視察来庁
 - ・7月3日(金) 木城町学校給食調理場運営委員会
 - ・7月5日(日) K I J Oファンシューマーズタウン推進大会
児嶋琥一郎・登美記念式
 - ・7月7日(火) 通学路合同点検推進会議
被爆81周年原水禁九州横断平和行進キャラバン隊来庁
 - ・7月8日(水) 命の後援会(大野勝彦氏) 木城学園8年生
 - ・7月10日(金) みどりの会
福寿大学・中央婦人学級合同(学園授業参観及び給食試食)
 - ・7月17日(金) 学校支援訪問
 - ・7月22日(水) 定例課長会
教育講演会
教育委員会評価等委員会
 - ・7月24日(金) サマーワークショップ
木城学園1学期修業式
 - ・7月27日(月) 義務教育学校海外派遣事業出発式
産業振興課・教育課・地域政策課「連携会議」
埼玉県毛呂山町受け入れ交流事業「町長表敬訪問」(~28日まで)
 - ・7月28日(火) 第5回木城町議会臨時会
高城合戦ボランティアガイド養成講座修了式
 - ・7月30日(木) 木城町教育委員会7月定例会
義務教育学校海外派遣事業到着解散
 - ・7月31日(金) 辞令交付式(学園事務職)
- 以上が7月行事でございます。続きまして、8月、9月行事予定について課長から説明をお願いします。

8月行事予定)

谷岡課長

- ・8月1日(土) 木城町商工会創立65周年記念「会員交流会」
- ・8月3日(月) 職員辞令交付式(町職員)

- ・8月5日(水) 第1回米良の神楽連絡協議会
宿泊学習現地会議
- ・8月6日(木) Nコン発表(後期課程)
高鍋税務署長着任挨拶
- ・8月7日(金) 宮崎県次世代校務支援システム構築・運用事業実施業務企画提案競技に係る二次審査会
Nコン発表(前期課程)
令和8年度宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会及び懇親会
- ・8月8日(土) 第16回木城盆おどり大会
- ・8月11日(火) 文化協会発表大会
- ・8月15日(土) 木城町戦没者供養祭式典
- ・8月17日(月) 9月補正町長査定
- ・8月18日(火) 国スポ 国スポ弁当に係る第1回試食会(挨拶)
ふるさと財団との交流会
- ・8月20日(木) 仮) 木城町教育委員会8月定例会
仮) 令和8年度総合教育会議
- ・8月21日(金) イングリッシュデイキャンプ
- ・8月22日(土) 西都・児湯ブロック大会(ソフトテニス競技)
- ・8月24日(月) 定例課長会
- ・8月25日(火) 人事ヒアリング
- ・8月26日(水) 第2回自治公民館長会
- ・8月27日(木) 木城学園2学期始業式
- ・8月30日(日) 聖和流空手道大会
高鍋神楽国指定記念公演及び祝賀会

【参考】

9月行事予定)

- ・9月1日(土) 第2回生涯学習推進協議会
- ・9月4日(金) 木城町議会定例会(予定)
- ・9月5日(土) 国スポ エアロビック南九州大会 in 木城
- ・9月11日(金) 木城町議会定例会最終日
議会・監査委員・執行部管理職意見交換会
- ・9月16日(水) 第2回社会教育委員会議
第4回義務教育学校海外派遣事業実行委員会
- ・9月20日(日) 木城町敬老の日大会
- ・9月21日(月) 総合交流センターリバリスホールイベント

8月、9月行事予定については以上です。

恵利教育長

- ・7月の行事報告8月・9月の行事予定が終わりました。高鍋神楽のチラシもお配りしていますが無料です。比木神楽も出演します。なにかご質問ございましたら。

金永委員

- ・7日の通学路合同点検ですね。毎年やってもらっていますが、今年はその学校も危険箇所を挙げられたんですか。

谷岡課長

- ・今年は学校もということではなくて毎年学校から、学校というのが地区の方から吸い上げた情報をもとに、学校からもこういう危険なところがありますというのが挙がってきます。朝の車の往来が多いとここでここに横断歩道が欲しいですとかいうのがございます。その中で、先ほど教育長も申し上げたように、警察とか土木事務所、木城町の建設水道課の職員が一堂に会して、ここで議論をして実際現地に行って、よりよき方向に持っていこうという会なんです。例えば、警察の方の意見では、むやみやたらに横断歩道はつくれないとかいろんな規制がございますので、そこら辺のすり合わせをしながら、町としては要望するんですけどもそれが実現するかはわかりません。ただ、学校の子供たちが登校するにあたって、こういうところが危険だということを認識する会であります。

金永委員

- ・地域から上がってくればわかりますわね。なるほどね。その5ヶ所ほどあがってきたということですがどこですか。

谷岡課長

- ・高城の役場近くが2ヶ所ありました。例えば車が止まれの標識が無くて、車がずっと鼻を出したときに、自転車と接触するような事例があったということで、警察の方に聞いたら止まれじゃないから実際止まらない。自転車の意識としては、走っていたら車が出てきてぶつかったみたいなのが高城の方で2ヶ所あったようです。川こちら側では向河原住宅もそういったところがありました。それと、中椎木も1ヶ所ありました。

金永委員

- ・中椎木は何処でした。

谷岡課長

- ・金永委員、上西委員宅の近くのところのところですね。朝の交通量が多いというところでそういった要望がありましたけれども、検討もしましたが、その結果としてこういった対策をとりますとか横断歩道を作りますとかいうのはまだ回答は得ておりません。

金永委員

- ・いいですよ。上がってきたところ、危険箇所は危ないんですね。だから学校の注意喚起ですね。これを常時しておかないといかんですよ。去年、歯科医の前の横断歩道を渡ってて事故に遭ってヘリコプターで運ばれたところはあがらなかったですか。

谷岡課長

- ・そこは議題にはなりません。もちろん、そこで事故があったっていう報告はありましたけれども。あそこは横断歩道があって、いわゆる渋滞の状態の子供が渡って、一方は渋滞じゃなかったもんですから。車の影から出たところで車とぶつかったということなので、もちろん車の運転手のそういった横断歩道は歩行者優先というのがあります。プラス

そういった、車の影からひょこっと出てきたという、歩行者側もやっぱり自分を守るための注意そういうことでの指導とか、自分の身を守るという意味のことは話に出ました。

金永委員

- ・事故があっているからその注意喚起ね、二度と繰り返さないようにですね。相手が悪かったとしても事故に遭って大けがしたら大変ですからね。学校の方も参加していたんですね。

谷岡課長

- ・もちろん参加しています。

恵利教育長

- ・注意喚起をしっかりとですね。

倉永委員

- ・よろしいですか。7月8日水曜日、木城学園8年生を対象に命の講演会、これはこういった内容ですか。

恵利教育長

- ・命の講演会、大野勝彦さんという両手がない方で、熊本の阿蘇の美術館を自分で手を使わずに書かれて美術館を作られて、その自分の今までの生きざまから、命を大事にすることだとか、精一杯生きることだとかそんな話をされたんです。実際にこられて、ちょっと演題は浮かばないんですが、5・6校時に8年生に木城学園で、そういう生き方についての話をされました。

倉永委員

- ・例年8年生対象でそういった講演会をしているんですか。

恵利教育長

- ・学校内では、8年生だけではなく、命を大事にする学習っていうのはそれぞれやられてるんですけど、今年そういう講演会を学校でしませんかっていう話は去年ぐらいからあっていたんですね。そのうちの8年生にこの講演会を学校が聞かせてあげたいということでした。

横井委員

- ・サマーワークショップに私も参加させていただいたんですけど、今回対象が全校児童ということで初めてのことだったんですけど、子供と大人の触れ合いっていうか確認ができてすごくいい企画だったなと思ったんですけど、団体の方の参加者だけで地域に広めてくれたらもっと良い地域とのふれあいの活動になるんじゃないかなとちょっと考えたところでした。それと、友愛社と町外者の子供に関しては学校だったというのがちょっと、どうしてかなっていうのが思ったんですけど、友愛社の子たちも近くの公民館とか町外の子もおじいちゃんおばあちゃんの住所の公民館では参加できなかったのかなあというのを感じたところです。

恵利教育長

- ・また来年は反省点を活かして、今の意見を必ずお伝えしておきます。さっきおっしゃった地域の注意喚起、それも含めてお話をしておきます。

金永委員

- ・ちょっといいですか。17日の学校支援訪問どうもありがとうございました。でね、そのときにちょっと1つだけ気になったんですけども、保健室の先生前期課程ですよね。頭痛を持って保健室に来る子が多いと。時間が短かったからそのぐらいしかわからなかったんですけども、子供が目まいとかちょっと気分が悪くて来ることはあるけれど原因は何かかなと思って。何かわかりますか。

上西委員

- ・うちの娘も頭痛で行ったってという連絡があって、暑さとそういう気温ですね、そういうので子供はちょっと疲れが出ているときに何か多くあって、ちょっと休むともう回復して教室に戻れたって。結構5年生も何人かずつ訴えていっているんですけど、やっぱりこの暑さで、水筒とかは持ってきているんですけど、水分補給とかそういうのもされていると思うんですけど、今以上にしっかりと休憩中には飲んだ方がいいのかな。休憩が10分ぐらいしかないので、移動とか学校が広いから水分を取る時間もないってということも言っていました。

金永委員

- ・なるほどね。大人の場合はね、いろんな血圧で痛かったりとか、気圧の関係でも痛くなったり、首とか肩のコリでも痛くなったりいろいろするんですけど、何かなとちょっと思ったもんですから。その辺は保健の先生はもうそれなりに家庭の方に発信はされていると思うんですけども、その辺の状況は教員の方には共有されていますかね。

本田専門監

- ・されていると思います。そのことについては把握はしてないんですが、通常は共有していると思います。

金永委員

- ・あのね、教員のその受けとめがちょっと弱いかなと。去年もあったですよ。健康診断で指摘されて病院に行きなさいと。それがそのままなっているということが多いという指摘が保健の先生からありました。私これが出てきたから、最初の4月、5月だったらバタバタするからそういうのはあるかもしれないというふうに思ってもまたそれが続いていくとちょっとね。受けとめをどうされているのかなと思って水のこととか言われましたね。その辺チェックをされているかなあと軽く考えるとやっぱり続いていく1年間ね。やっぱ頭痛がしていたらこれ勉強にならんと思ってですね、集中できないですからね。そういう関係で授業参観したときも集中してない子はやっぱりちょっと目立ったんですよ。養護の先生が言われたのはもう1つ睡眠不足。これで来る子もいると言われてですね、となってくるとそれは生活面と関係してれば保護者と教員としっかり情報共有して、どう立て直して

いくかね。基本的な生活習慣これをどう立て直していくか、そこはよく意思疎通を図ってお互いに協力し合うというふうにいったほうがいいだろうなと思います。やっぱり学校の教育っていうのは、家庭それから学校は両輪だと学習指導要領に書いてあるからですね。ちゃんと学校、家庭が連携して学習に当たりなさいよと、学校と家庭、学校教育の両輪ですよっていうのがあるからね。やっぱり、お互いに教員は教員でもきちんと受けとめて、家庭に問題があれば協力依頼して意思疎通をしっかりと図って、生活習慣がきちんとなるように、学習に集中できるように持って行って欲しいなと思ったところでした。だからそうやって考えると、1人1人が生活習慣をしっかりと、彼らがきちんとすれば授業の方にも集中できますよね。そうしてくると、お互い相乗効果でさらにいろんなことが伸びてくるだろうと。そうやって考えると、伸びしろがいっぱいあるなという感じがしてちょっともったいないという感じがね。私が最近気になるのは、去年ちょっと感じていたんですけども、教員の方の受けとめとか物事に対する姿勢がちょっと軽いなと。そういうところがあるなと思ったんですけど、その時はたまたまそうだろうと思っていたんですけど、今回の地域のいろんな声とかね、授業参観の様子で養護教諭はしっかり押さえていますよね。養護教諭は担任じゃないから、遠くからの訴えになるメッセージになりますけどもしっかりされていると。教員がどう受けとめるかですね。

恵利教育長

- ・はい、わかりました。適格なご指摘だと思います。次に参りますがよろしいでしょうか。それでは資料が準備してございますが、夏休みの子供教室、ぶどう・なし狩り体験、今日早速、はじめての英語教室をやられています。こんなのも行われているというふうになります。次に、イングリッシュデイキャンプについてお願いします。

本田専門監

- ・English Day Camp 今年で2回目になります。こういうのを町独自で行うということは多分珍しいと思います。今年もですね5名のALTの先生方に来ていただいて、もちろん学校にいる以外の先生も参加して行います。今申し込みが31人です。他地区との違いは学年の幅が広いというところだと思います。普通は後期課程、中学生だけとかに絞って行ったりするんですけど、うちは前期課程5年生から9年生までと広い幅で行っています。だから中身がちょっと調整が難しいんじゃないかと思われるかもしれませんが、縦の繋がりが、9年生が5年生をサポートしながらグループでいろんな体験を行っていくんですけどもそういった形で行いますので、5年生でも安心して参加できるという形になっています。楽しい一日を過ごすことができるんじゃないかというふうに期待しているところです。以上でございます。

恵利教育長

- ・もう1つだけ、サキドリ研究校における働き方改革というのがあると思いますが、これちょっと説明を。

本田専門監

【資料をもとに説明】

・先日、県の働き方改革の会議の中で、依頼を受けたので紹介をしてきました。先取り研究校、今年4月から指定を受けて行っていますけども、その中身について概要を説明しようと思います。宮崎県では宮崎市が2校、北中と宮小。そして日之影の宮水小と木城学園後期課程4校が指定されております。どういったものかということ50分授業を45分ということとはもうこれまで続けているんですけども、これがどういった中身になっているかってことについて概要を説明します。下の方にある先取り研究校とは、調整授業時数制度上の方の右の方に括弧書きがありますが、これが今次期学習指導要領に向けて、国の方で検討されている中身です。調整授業時数制度って一体どういうことかと言いますと、現行は教育課程全部で授業が1015ありますけど、その中身を例えばある授業を少し減らしたり、つけ足したり時間を生み出したりすることで、柔軟に裁量的な時間を生み出そうというものです。裏面です。木城学園はどんなふうにしてるのかって言うことですけども、この動かし方が3パターンあります。1つは既存の教科の上乗せ。2つ目に教科の新設、新しい教科を作ってみよう。3つ目に裁量的な時間を生み出そう。この裁量的な時間には子供の資質・能力の育成に関するものですから、うちで言うと自己調整学習、自分で主体的に学ぶという時間。もう1つが教師の組織的な研究・研修。つまり、先生たちも授業の準備だったり研究する時間がなければ質は上がりませんので、そういった時間もしっかり設けていきましょうというもの。木城学園は3番ということで、裁量的な時間を生み出そうという取り組みをしています。時間の使い方は2つですね。(ア)と(イ)についてです。裁量的な時間について詳しくは4ページの下の方にあるような、子供の学びに関すること、先生の学びに関することがあります。3ページの方ですけども、なぜ木城学園がこれに応募したかと言いますと、理由が2つありまして1つは子供がみずから学ぶ力を育てること。自己調整学習、つまり生み出した時間を使って自分で学ぶ時間をとる。教科も内容もやり方も選んでいこうと、それを先生がサポートしていこうという時間ですね。2つ目に、先生たちも学ぶ時間を確保しよう。それは授業の質を上げるために。という目的で応募しました。中身については3ページの下の方にどんなふうになっているかというのがあります。授業時数も50分を45分に縮めていったりしますので、全体ではこんなふうになっていますというのが表に書いています。授業時数は多い教科ですね、五教科を1割程度ずつ授業時間として調整しています。合計では60時間ぐらいあります。この使い方としては子供の学びに約30時間、先生たちの学びに約30時間に振り分けています。右の方に使い方ですね、子供の学びでは、グリーンタイムというものを設けて、子供たちが主体的に学ぶ時間になっています。そして先生方は授業について、授業改善についてしっかりと研究するという時間というふうに設けております。4ページの方をご覧ください。まだ始まったばかりですので、なかなか成果というか動きは見えないところではありますが、自己調整学習等は令和6年から続けているところがありますので、意識の変化が見られてきたっていうのが

先生方の声であります。授業時間を減らすことじゃなくて限られた時間でどう効果的に教えていくかというように変わってきたそうです。真ん中の方ですね、学習内容の精選とか焦点化と書いていますが、ある先生の話を見ると、やはり授業ではもう内容の核となる部分をしっかり教えるんだっていう意識に変わってきたと。そして習熟に関しては自己調整学習等でも行えるのでというふうな考えに変わってきたそうです。それで予定した内容を終えること、これを全部教えきるんだというところから、必要な学びをしっかりと子供に届けるんだとそういう意識に変わってきたと。認識の変化が見られているようです。それと働き方改革 2 つ目、物理的な効果です。教職員の研修・研究、通常であれば子供が帰った後だったり、長期休業期間中だったりに行っていたそういった授業研究もここで行うことができますので、その分は先生たちにとってもゆとり（余白）になっております。また、自己調整学習約 30 時間は、全職員で対応してますので、個人の負担というのは軽減されております。そして今どんなふうになっているかというと、週大体 28 コマ、5 時間授業が週 2 回は設定できるぐらいの運用ができるそうです。また、部活動も、原則は 16 時 30 分退庁時刻ぐらいで終了です。延長ができるということで延長はされてる状況ありますけれども、こういった時間設定ができるということ。また先生方同士の対話も増えてきたという効果も見られているようです。時間外勤務時間の平均ですけども、4 月、5 月見てみますと、令和 7 年度は 34 時間 45 分だったのが令和 8 年の 33 時間 11 分で 1 時間半ぐらい短くなっております。もちろんいろんな取り組みを始めていますので、これだけの効果じゃありませんがこういった成果が出ています。子供の変化です。自己調整学習は令和 6 年から続けているものがありますが、やっぱり子供が変わってきたというような授業の中での集中力が随分違いますと、あと教え合う態度がよくなってきましたということをお聞きします。ですから学習意欲の向上そしてまた、学力の向上傾向も見られるということで、成果が出始めているなあとというふうに感じております。ただ始まって、まだですね 3 ヶ月 4 ヶ月でするので、これから様子を見ていかなきゃいけないなと思っていますけれども、概ね、先生方の方からも肯定的な意見が出ておりまして、順調に進めているかなというふうにとらえているところです。サキドリ研究校について、多分、詳しい中身についてはこれまで説明する機会ありませんので簡単でありますけれども、こういったことを進めておるってことで紹介いたします。そしてこれが次期学習指導要領。令和 12 年から正式に始まるんですけどそこではサキドリの学校だけでなくいろんな学校でこういうことができるようになる見通しだということです。また詳しくお聞きになられたいときはぜひ個人的に声をかけてもらえれば説明いたします。以上でございます。

(3) 意見交換

恵利教育長

・実質的には 2 年前からやっていたこと。国のサキドリの先取りをやっていたんですね。

倉永委員

・これは全学年ですか。

本田専門監

- ・後期課程だけです。

恵利教育長

- ・前期課程でもできないだろうかと模索はされています。

本田専門監

- ・宮崎市の方では小学校で取り組んでるところもあります。

金永委員

- ・夏休みの登校日はいつですかね。

本田専門監

- ・ないんです。夏休みが1ヶ月になりまして、短くなっています。

金永委員

- ・どこもそうですか。

恵利教育長

- ・多くなりましたね。40日あるところも登校日しませんよというところも多いですね。

金永委員

- ・部活動はしているんですか。

本田専門監

- ・やっていますね。

金永委員

- ・時間体は。朝早くとか。ここに来るときグラウンドに誰かいたような気がするけど。

谷岡課長

- ・部によっては違うんでしょうけど、やっぱり暑いので8時からやってるところが多いように感じます。朝7時45分に集合して8時から。活動を始めて11時までとか、10時までという感じなんでしょうか。

金永委員

- ・異常な暑さですからね。時間を決めてねそういうふうに持ってきていけばいいと思いますよ。

谷岡課長

- ・今日も8時の段階で32度ぐらいでした。なので、早い時間もしくは遅い時間夕方なんでしょうけど、部活動としては朝やってるようでございます。

金永委員

- ・大体ずっとやるんですか。

谷岡課長

- ・お盆以外は大体やると思うんですね。大会とかそういうのも入ってくると思うんですよ。

金永委員

・8月また大会が、西都児湯ブロック大会ですか。

谷岡課長

・西都児湯ブロック大会は小学校の大会ですね。

恵利教育長

・ちなみに後期課程の女子ソフトテニスが九州大会に行くことが決まったんですけども、8月5日なんですけど熊本だそうです。保護者が役場におられますが、まだ何も言ってきていないよっていう話をしていました。どうなるかと心配をされていました。

恵利教育長

それでは次回定例会の日程について課長からよろしくお願いします。

(4) 次回 定例会日程 (案)

谷岡課長

・次回8月の定例会を8月20日木曜日、午前9時00分から、その後、行事予定でもお示しましたように、総合教育会議を10時半から引き続き行いたいと思っております。委員の皆様いかがでしょうか。次回の日程につきましてはそのように計画させていただきます。

恵利教育長

・宜しくお願いしたいと思います。

谷岡課長

・以上をもちまして、令和8年7月木城町教育委員会定例会を閉会させていただきます。一同礼ありがとうございました。

次回定例会日程

8月20日(木) 午前9時00分からリパリス小会議室1

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

恵利 修二

委員

倉永 慎一